

以存知難の女子を撰取五三内は尚学台
くはせし中は心むる勢もは故に皇額の
内を以て可なり同相同也

辛未

十月

東久在岡拓長友

黒田岡拓次友

岡之通



正院中

北海通開拓の後此度更に創業
之事、舟当秋と来曲折談判上
定款金等極尚又先般外債
をも御評容相成りて自明春より
道海建築を以て舟楫の冠を以て
兼務に推定未件「見込」通に概
いとも費用許多と云ふ有し勿得
致る成功と云ふ事いふは其

